

00. はじめに

そっきというの、もじを はやく かく こと または その ぎじゆつ の こと です。

そっきが できると、いろいろと いい ことが あります。

ひとが はなすの と おなじ はやさで かけるの ですから、とても べんり です。

だいじな ことも、メモを とって いなければ すぐに わすれて しまいますが、そっきが できれば、いくらでも きろく できます。

だいじな ことは かみに かいて いない ことの ほうが おおい もの です。

うたを おぼえる ときも、きよくを ききながら ぜんぶ かきとめ られます。

ほかの ひとには よめない ので、ひみつの にっきも かけますね。

また、そっきを ならうと、こくごの べんきょうにも なります。
そっきを ならいながら、きょうようが みに つくと いう わけ です。

でも、おぼえるのが たいへんそう です。
そっきを おぼえる じかんが あったら、ほかの ことを おぼえた ほうが とくの ような きが します。

ところが、そっきを おぼえるのは、いがいに かんたん です。

いま よんで いる もじの てんてんを けしたら、それが そっき もじ です。
かんたん でしょう？
すでに いくつか おぼえたんじゃ ありませんか？

さあ、これから そっき もじを おぼえて いきましょう。
このまま よみ すすんで いけば、きっと すぐに おぼえ られますよ。

これから いくつかの ものがたりを よん で もらいます。
だれにも おなじみの かんたん な ものがたり です。

その まえに、そっきの きほん もじと いくつかの ちゅうい てんに、ざつと めを とおして ください。

まだ おぼえ なくても いい です。
だいたいの かんじが つかめたら、ものがたりに すすんで ください。

ものがたりを よみ おえた ころには きっと、そっきが わかる ように なって いますよ。
たのしみ です。

それでは どうぞ。